



11月19日(月)

発行所  
広島市中区土橋町7番1号  
〒730-8577  
中国新聞社  
電話(082)236-2111(受付案内台)  
郵便振替口座 01370-0-57  
ホームページ  
<http://www.chugoku-np.co.jp/>

# 国内初の記者養成コース

「現場で鍛える」記者教育に二石を投じそうだ。来年四月に四十人を受け入れる早大大学院の「ジャーナリズムコース」の特徴の一つは報道現場のベテランが多数教員になることだ。

「今はほとんど日本の中だけで教育された記者がアジアを取材する。逆も同じで、アジア公共圏をつくる妨げになっている」と指摘する。

## 早大大学院 来春から設置 教員は現場のベテラン

「現場で鍛える」記者教育に二石を投じそうだ。来年四月に四十人を受け入れる早大大学院の「ジャーナリズムコース」の特徴の一つは報道現場のベテランが多数教員になることだ。全国紙の現役編集幹部を実務教育の統括役として起用することを予定しているほか、取材、記事執筆の実習指導に大手紙デスクや映像メディア中堅幹部らが十人程度、非常勤講師として配置される。一線で活躍する記者らによる「現場論」の授業も準備されている。ウェブ上の新聞やネット上で聴けるラジオ番組を制作し、実際に報道機関

研究科教務主任の梶森直之教授が「大学でなければできない」と語るのは「国際化」。特々シアとのかかわりを意識する。中国の復旦大、中國伝媒大の各ジャーナリズムスクールとも、学生交換など提携に向け話の協議をしている。

早稲田大学院政治学  
研究科は来春、日本初の「ジャーナリズム修士」の学位を与えるコースを設置する。研究に加え、即戦力となる記者の養成も目的にしており、欧米で記者の供給源になっていた「ジャーナリズムスクール」に近い教育機関が国内にも登場。従来の

「現場で鍛える」記者教育に二石を投じそうだ。来年四月に四十人を受け入れる早大大学院の「ジャーナリズムコース」の特徴の一つは報道現場のベテランが多数教員になることだ。全国紙の現役編集幹部を実務教育の統括役として起用することを予定しているほか、取材、記事執筆の実習指導に大手紙デスクや映像メディア中堅幹部らが十人程度、非常勤講師として配置される。一線で活躍する記者らによる「現場論」の授業も準備されている。ウェブ上の新聞やネット上で聴けるラジオ番組を制作し、実際に報道機関

と称される。報道の歴史や理念のほか、実践的なトレーニングに力を入れ、新聞を発行したり、学内向けテレビ番組をつくるなどシオを設置したりする大学もある。米コロネリア大ジャーナリズム大学院などが有名。

### クリソク